

# フルオロカーボン簡易再生装置

## RP5500

### 取扱説明書

#### 安全にお使い頂くために

- ご使用の前に本説明書を良く読み、充分理解してからお使いください。また、読み終わった後は、いつでも読むことのできる場所に保管してください。
- この安全の手引きでは、間違った取扱をしたときに、状況によっては、人が傷害を負う可能性及び、物的な損害の発生が想定される内容を注意としてまとめてあります。安全に関する重要事項を記載しますので、必ず守ってください。

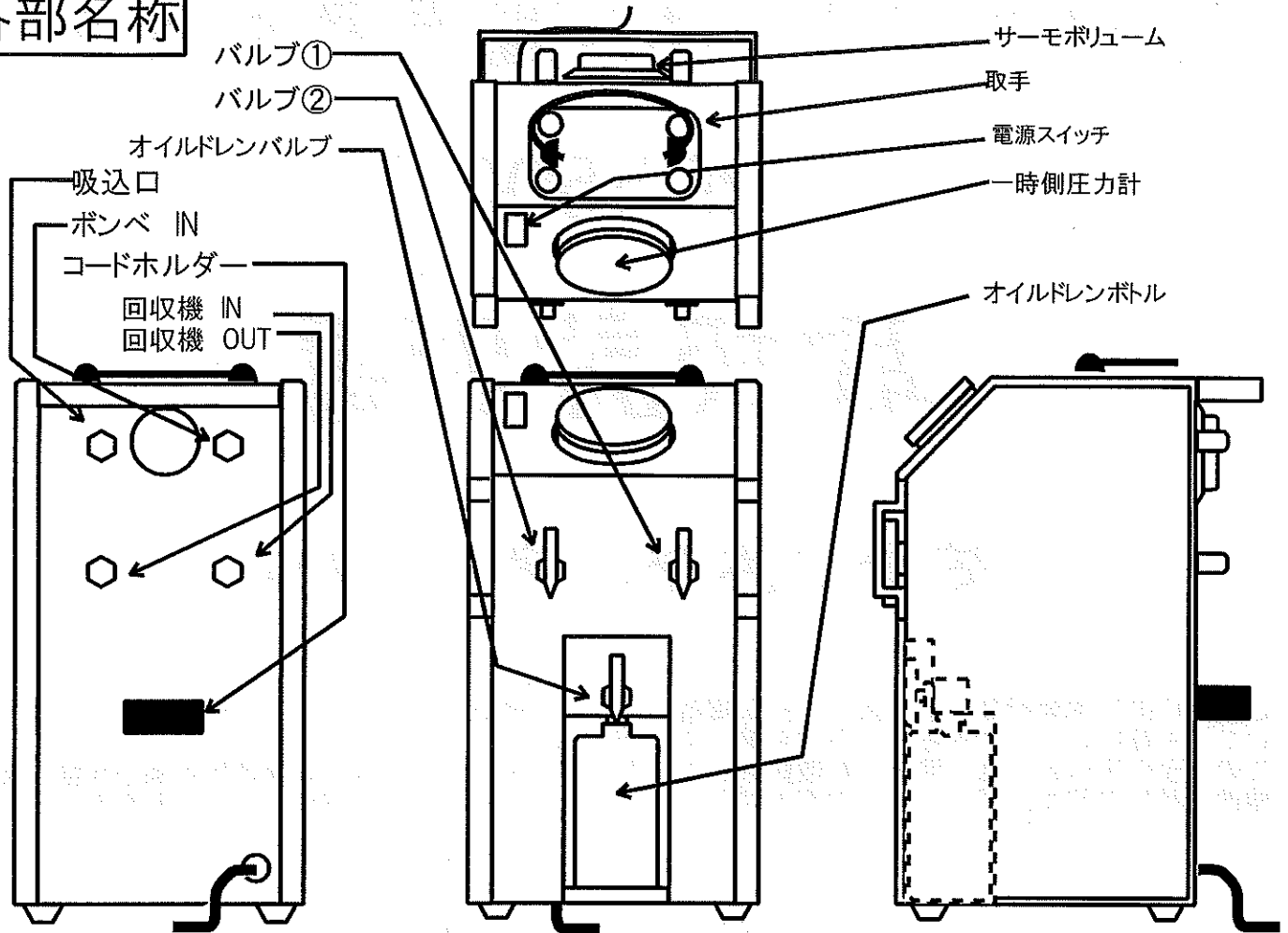


- ◆ 用途以外に使用しないでください。
- ◆ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ◆ 分解しないでください。
- ◆ 作業する際は、必ずゴーグル、革手袋等をご使用ください。直接冷媒等に触れますと、凍傷や失明の恐れがあります。
- ◆ 換気には、十分に気をつけ、通気性のよい場所でご使用ください。
- ◆ 可燃性液の近くや火気のない所でご使用してください。
- ◆ 配管部は熱くまたは冷たくなります。運転中や使用直後は注意してください。
- ◆ 作業終了時はセルフクリーニングを行い本装置から冷媒を回収した状態にしてください。
- ◆ 油断しないで充分注意して作業してください。非常識な作業は事故や怪我の恐れがあります。
- ◆ 作業中製品の異常に気づいたら、直ちに作業を中止し点検してください。原因がわからないときは、お買い求めの販売店、または当社へ点検を御申付けください。
- ◆ 空調・冷凍関係の作業に従事されている方がご使用ください。
- ◆ フルオロカーボン回収装置RP5000, RP5410と共にご使用ください。
- ◆ 冷媒は、冷凍サイクルに応じて適切なものをご使用ください。
- ◆ 冷媒の取扱注意事項も充分理解した上でご使用ください。
- ◆ 冷凍サイクルを十分に理解し、ご使用ください。

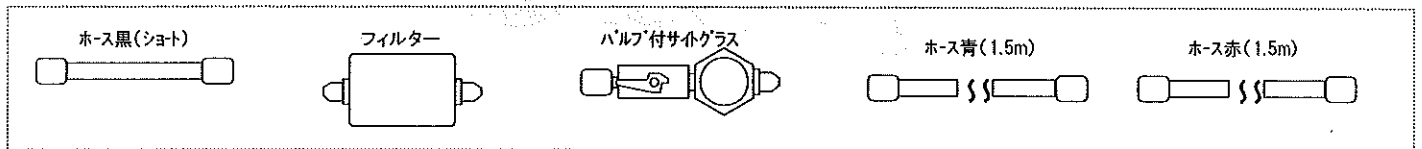
株式会社 ロテックス

〒230-0002 神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町3番43号 TEL 045-580-4790  
FAX 045-580-4791

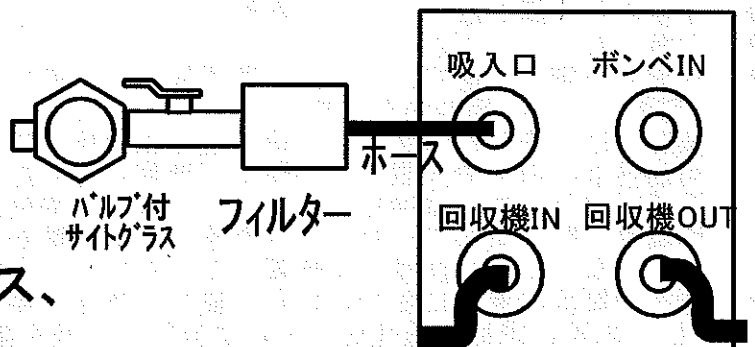
# 各部名称



## 付属品



## セットアップ



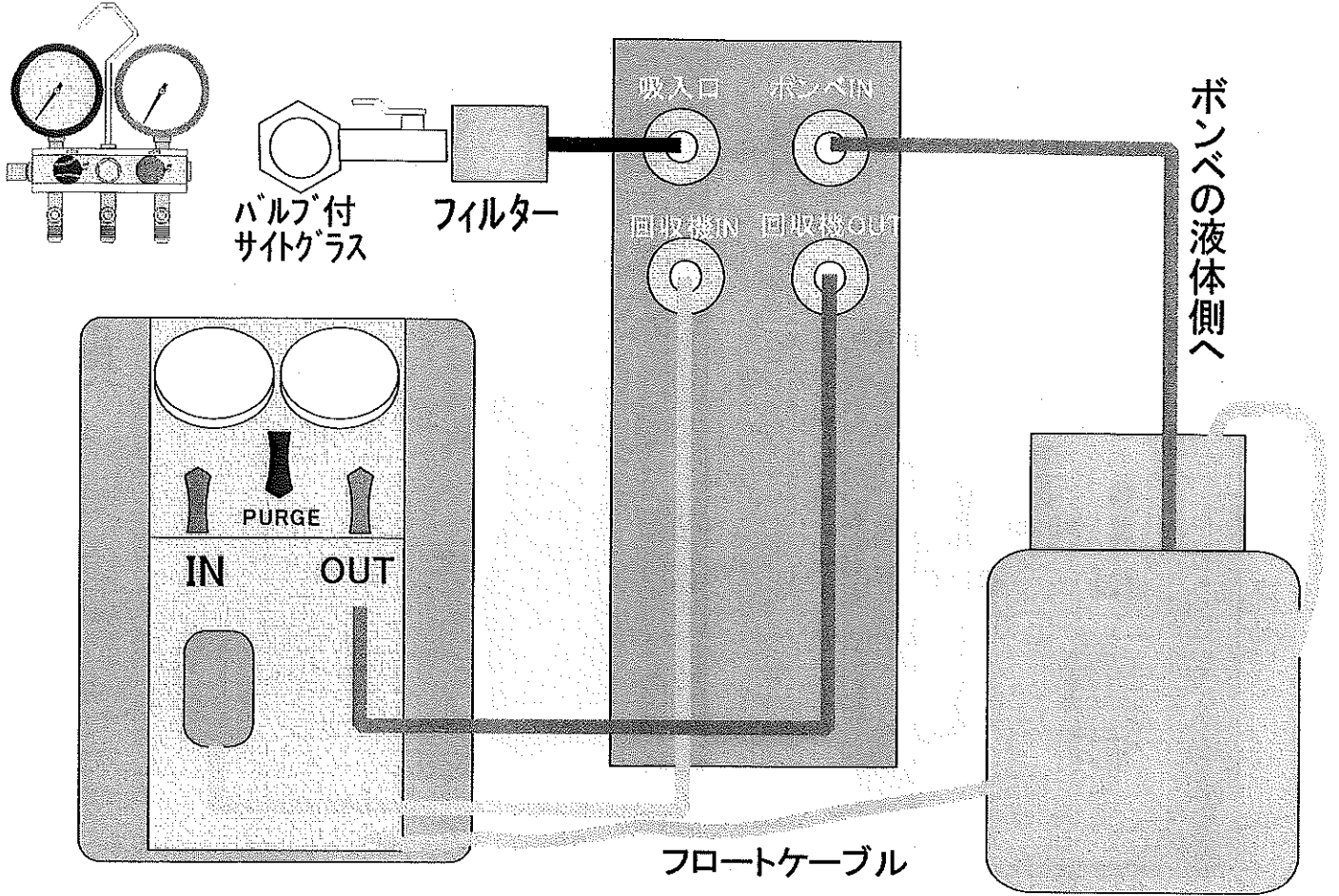
- ① 付属のフィルター、ホース、バルブ付サイトグラスを図の様に繋ぎ、「吸入口」に接続してください。
- ② 回収機INにホース青、回収機OUTにホース赤を接続してください。
- ③ ポンペINは回収機に付属のホースを使用してください。

# 再生機

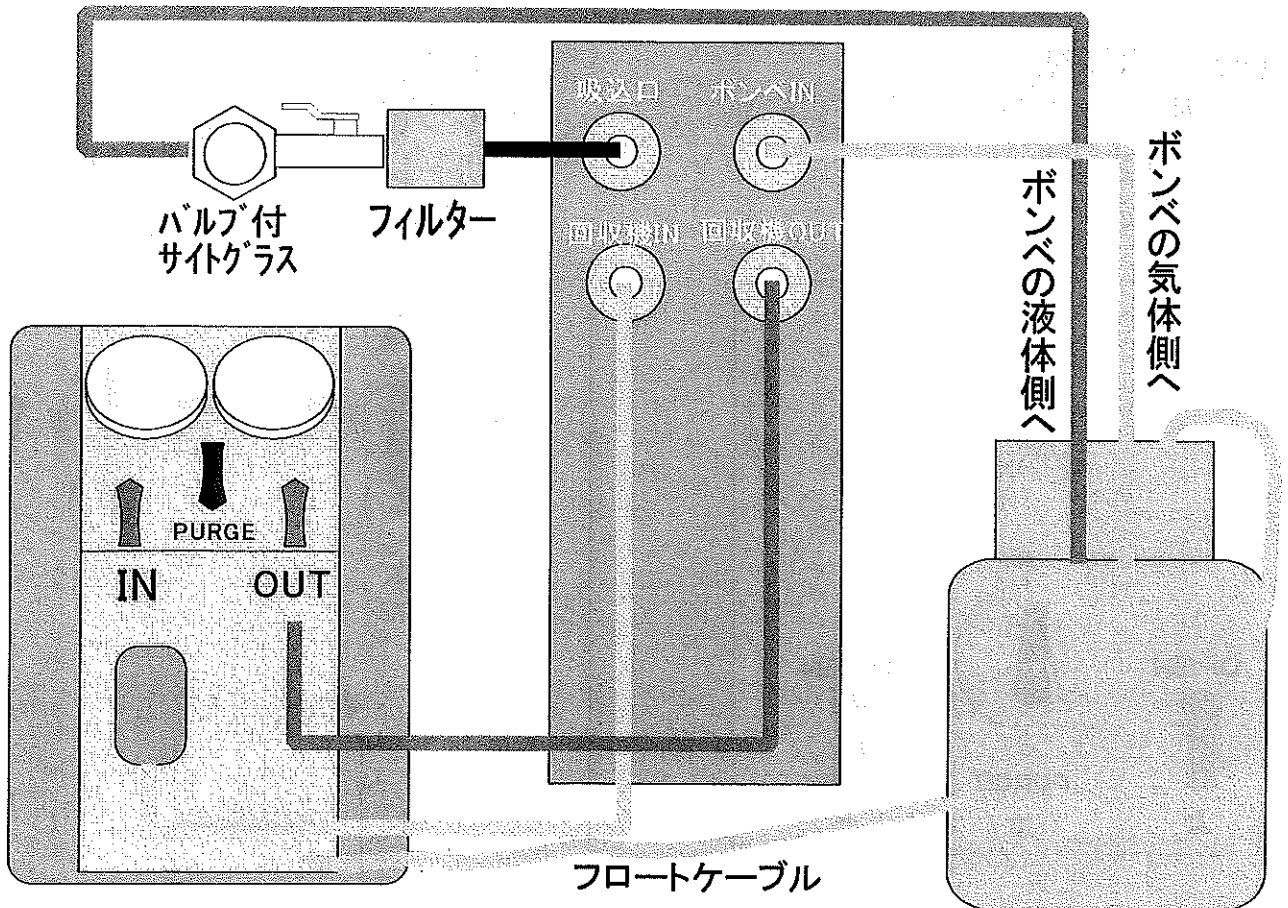
ドライフィルターは外付けとなっておりますので水分吸着効果を上げる為の容量の大きいドライフィルターを接続することも可能です。適宜にご使用ください。

冷凍、空調機に接続した  
マニホールドゲージへ

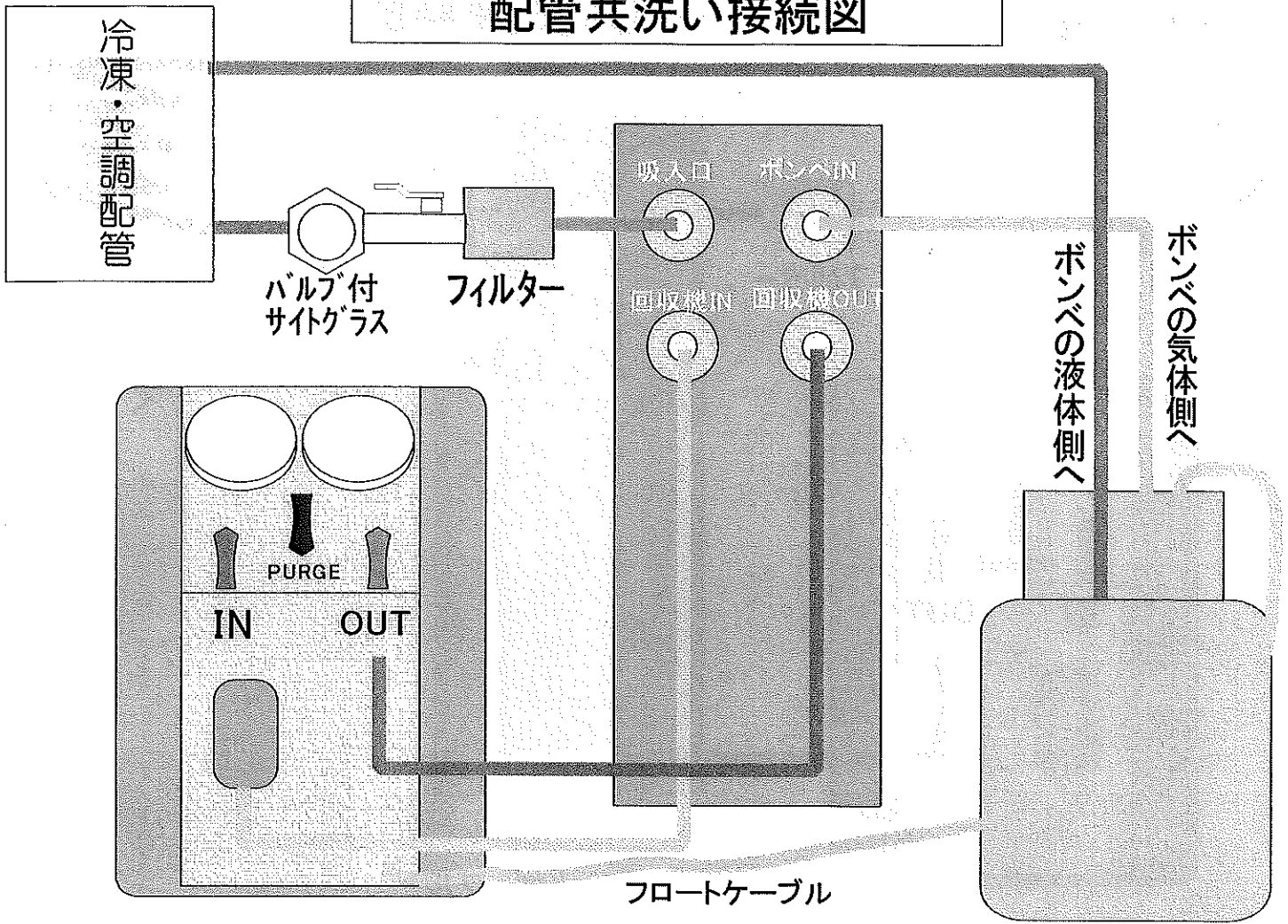
# オイル分離回収接続図



# 循環再生接続図



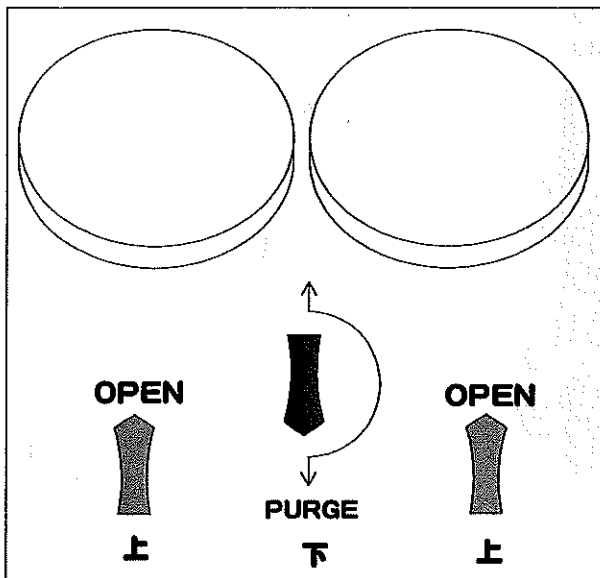
# 配管共洗い接続図



# バルブ初期操作

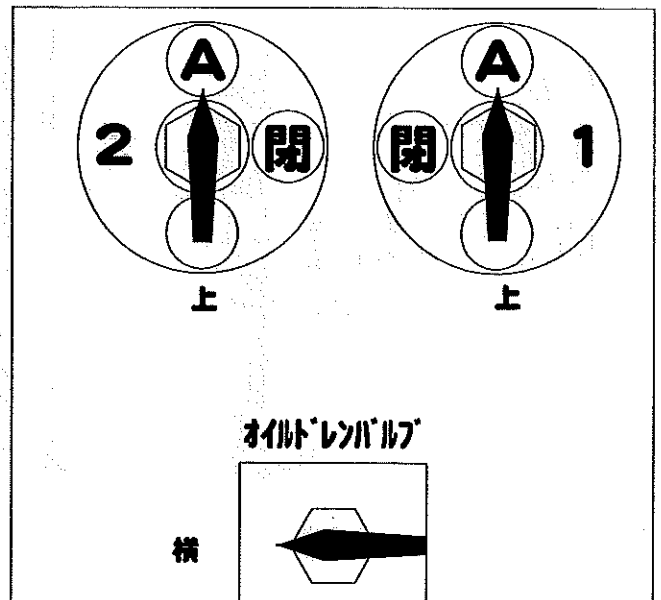
## 回収機

青 (IN) は OPEN (上)  
 黒 (切替バルブ) は PURGE (下)  
 赤 (OUT) は OPEN (上)  
 にしてください。



## 再生機

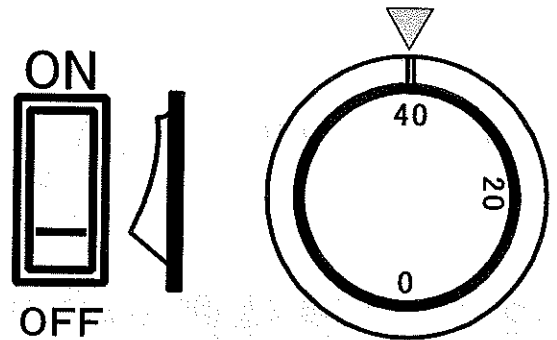
バルブ①は A (上)  
 バルブ②は A (上)  
 オイルレンバルブは 閉 (横)  
 にしてください。



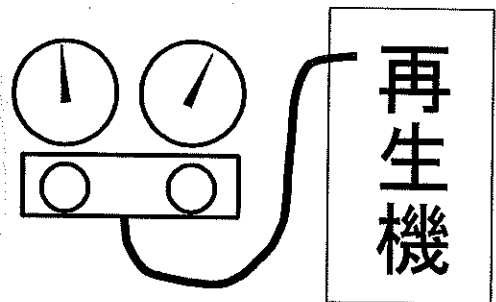
# オイル分離回収操作方法

- ①回収機、再生機のコンセントを差し込み  
再生機のスイッチを入れ、  
サーモボリュームを40にセットしてください。  
\* 40°C以内設定となっております。

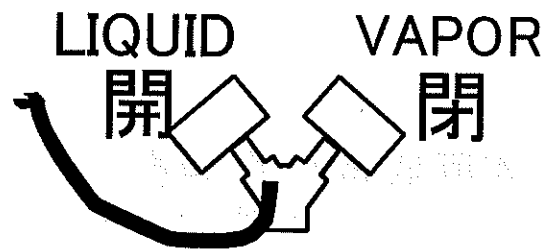
注意: ポンペが熱く(約45°C)なるような場合  
電源はOFFにしてください。



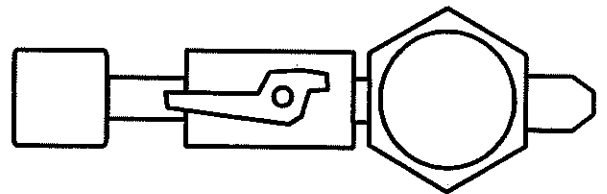
- ②マニホールドゲージのバルブを両方開けてください



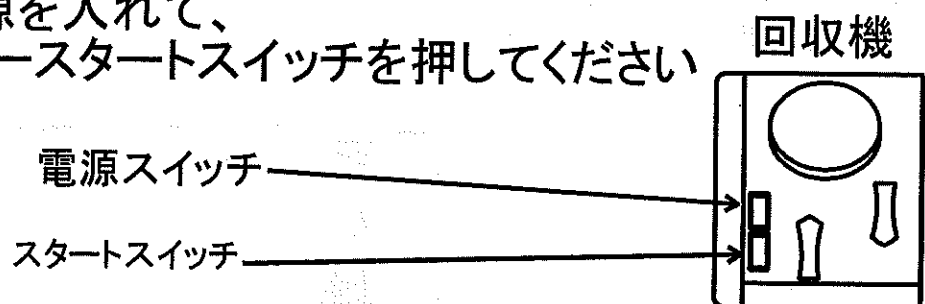
- ③ポンペ液体側(LIQUID)のバルブを開けてください  
(ホースが接続してあるバルブ)



- ④サイトグラスのバルブを開けてください



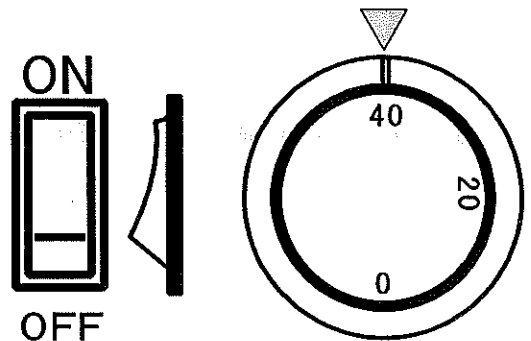
- ⑤回収機の電源を入れて、  
コンプレッサースタートスイッチを押してください



# 循環再生操作方法

- ①回収機、再生機のコンセントを差し込み  
再生機のスイッチを入れ、  
サーモボリュームを40にセットしてください。  
\* 40°C以内設定となっております。

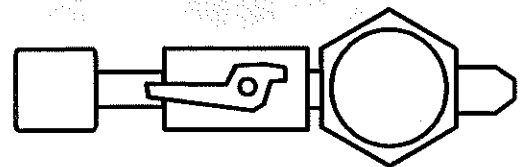
注意: ポンベが熱く(約45°C)なるような場合  
電源はOFFにしてください。



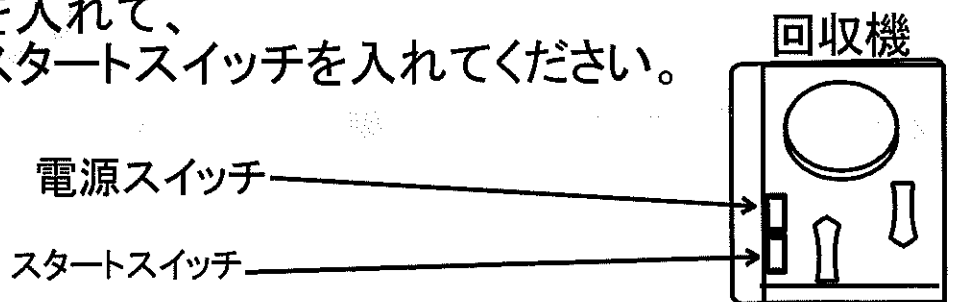
- ②ポンベ気体側(VAPOR)バルブ  
ポンベ液体側(LIQUID)バルブ  
をそれぞれ開けてください。



- ③サイトグラスのバルブを開けてください。



- ④回収機の電源を入れて、  
コンプレッサースタートスイッチを入れてください。



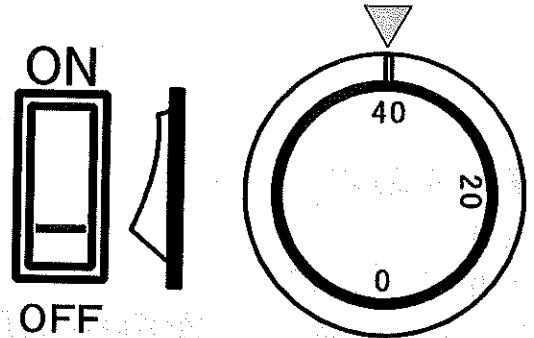
- ⑤再生を終了する際はポンベ液体側(LIQUID)バルブ  
だけを閉めてください。



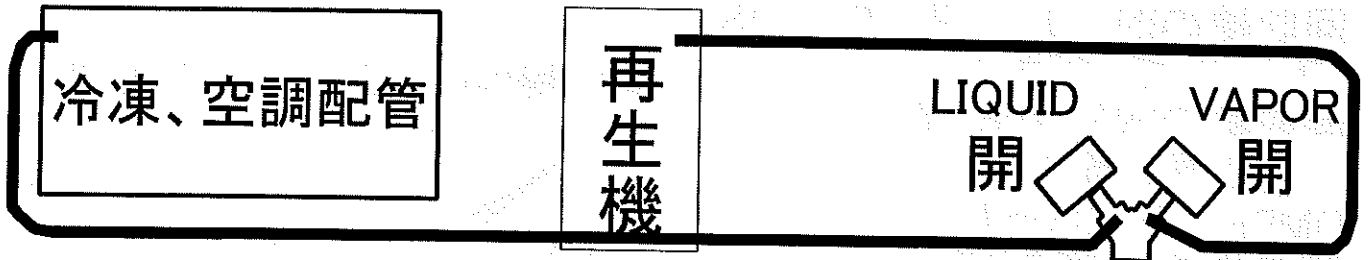
# 配管共洗い操作方法

- ①回収機、再生機のコンセントを差し込み  
再生機のスイッチを入れ、  
サーモボリュームを40にセットしてください。  
\* 40°C以内設定となっております。

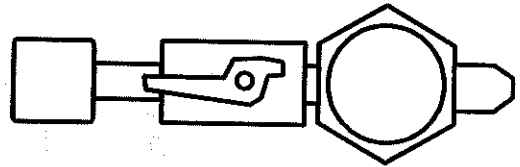
注意: ボンベが熱く(約45°C)なるような場合  
電源はOFFにしてください。



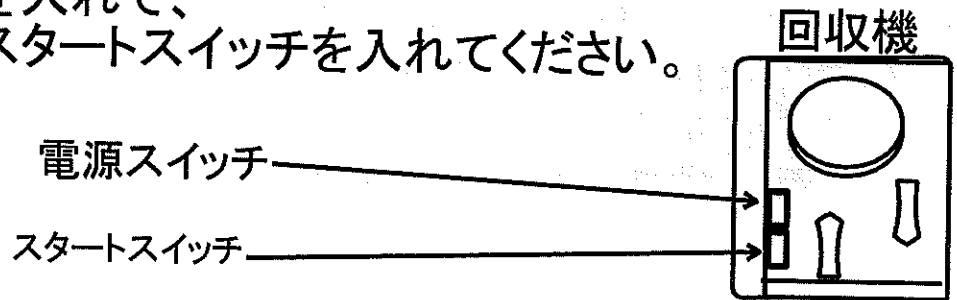
- ②ボンベ気体側(VAPOR)バルブ  
ボンベ液体側(LIQUID)バルブ  
をそれぞれ開けてください。



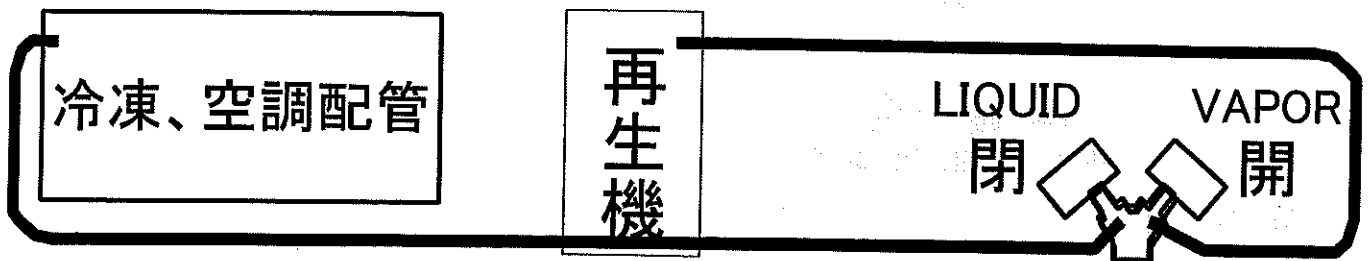
- ③サイトグラスのバルブを開けてください。



- ④回収機の電源を入れて、  
コンプレッサースタートスイッチを入れてください。



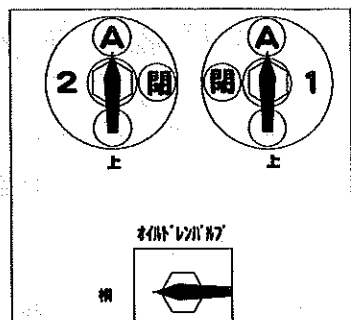
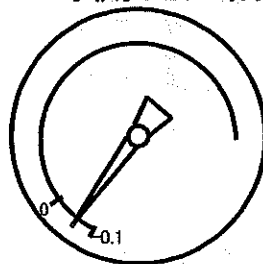
- ⑤洗浄を終了する際はボンベ液体側(LIQUID)バルブ  
だけを閉めてください。



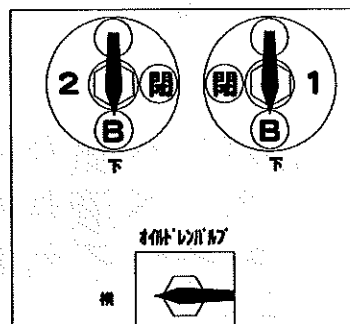
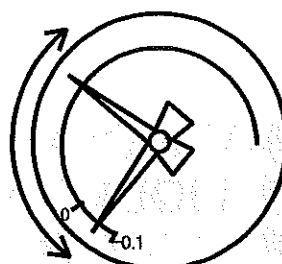
# セルフクリア操作方法

それぞれの作業が終了して  
一時側圧力計がOMPa以下  
になったら運転を継続したまま、  
セルフクリアを行ってください。

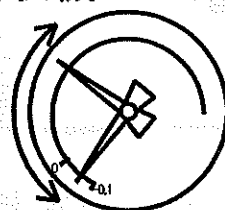
一時側圧力計



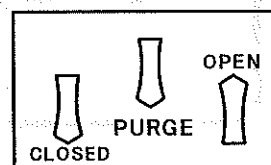
運転を継続したまま  
バルブ①をB(下)  
バルブ②をB(下)  
にしてください一次側圧力計が  
一度上昇し徐々に下がります  
OMPa以下になったら  
回収機のINバルブ(青)をCLOSE  
(下)にしてください  
回収機のIN圧力計(青)が  
一度上昇し徐々に下がります  
OMPa以下になったら  
回収機の電源をOFF  
再生機の電源をOFF  
にし、ポンベのバルブを  
閉じてください



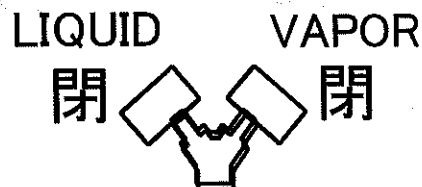
回収機IN圧力計



回収機

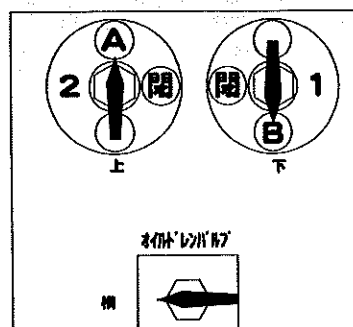


ポンベバルブ

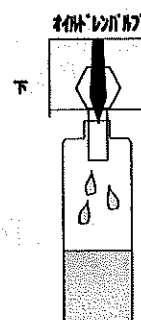


# オイルドレン操作方法

セルフクリアが終了したら  
バルブ①はB(下)そのままに  
バルブ②をA(上)  
にして再生機内を均圧してください



オイルドレンバルブをゆっくり  
開いてください(下)  
分離されたオイルが  
オイルドレンボトルに排出されます

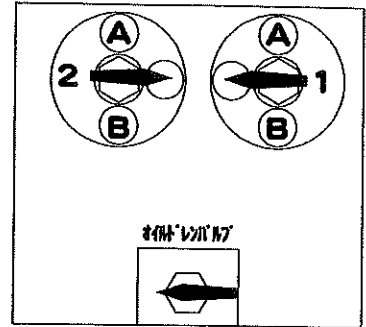


※ボトルから廃油が溢れる前に  
バルブを閉め、廃油を捨て、  
再度排出を行ってください。



# 作業終了時

全ての作業が終了したら  
再生機の全てのバルブを  
横にして閉じてください。  
電源プラグをコンセントより  
抜いてください。



## ⚠ 注意

- \* 接続したフィルターは湿気を帯びないようにキャップ等をつけて保管してください。
  - \* 目詰まり等で回収・再生スピードに影響がでます。使用頻度により異なりますがフィルターは定期的な交換をお薦めいたします。
  - \* 付属フィルターの水分吸着能力は回収冷媒にもよりますが目安として冷媒量約40Kg分です。
  - \* オプションで120Kg用フィルター(RP4621)を容易してあります。
  - \* 本装置はエアー分の除去は行いませんので冷媒の飽和温度圧力表を参考にして適宜に対応してください。
  - \* 外気温や膨張弁の調整でオイルセパレーターがオーバーフローすることもありますので装置内部の膨張弁にて適宜に対応してください。
  - \* オイル分離のため完全気化しますので回収スピードは回収機単体より遅くなります。
- 開 閉

エキスパンションバルブ  
(膨張弁)

## 洗浄用としての必要量の目安

配管サイズ	1mあたり冷媒封入質量(cc)	20m
1/4"	22.468	449.4
3/8"	54.339	1086.8
1/2"	103.81	2076.2
5/8"	164.59	3291.8
3/4"	241.78	4835.6
7/8"	330.54	6610.8
1"	433.51	8670.2

例: HCFC22 冷媒温度20°C  
1/2"X3/4"の20Mの場合

2076.2 + 4835.6 = 6911.8cc  
X冷媒の温度比重1.21Kg/l  
= 配管分 8.4Kg  
+ ポンペ内補足分 5Kg = 13.4Kg

\* 比重は冷媒温度により変化いたします。

## 所要時間の目安

例: HCFC22 冷媒温度20°C  
1/2"X3/6"の20Mの場合

$$\frac{\text{配管分必要量 } 8.4\text{Kg}}{\text{回収機気相冷媒回収能力 } 120\text{g/分}} = \text{ワンサイクル 約70分}$$